

令和5年度 全国学力・学習状況調査（荇田南小学校の結果）

令和5年4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の概要をお知らせします。

<教科別学習状況調査結果>

国語、算数のどちらの教科においても、全国の平均正答率より上回っています。

	国語	算数
荇田南小学校	69%	66%
全国との差	+1.8%	+3.5%
全国平均	67.2%	62.5%
神奈川県平均	66%	63%

<全国の正答率と比較して結果に特徴のある問題>

国語

全国平均より正答率が顕著に上回った問題と問題番号	全国平均と比べ正答率が顕著に下回った問題と問題番号
<ul style="list-style-type: none"> ●川村さんの文章の下線部ア「いがい」を漢字を使って書き直す問題。【1三(1)ア】 ●資料1と資料2に書かれている内容として、適切なものを選ぶ問題。【2一】 	<ul style="list-style-type: none"> ●寺田さんと山本さんがどのような思いでボランティアを続けているのかについて、わかったことをまとめて書く問題。【3二】

算数

全国平均より正答率が顕著に上回った問題と問題番号	全国平均と比べ正答率が顕著に下回った問題と問題番号
<ul style="list-style-type: none"> ●切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く問題。【2(3)】 ●$66 \div 3$の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ問題。【3(4)】 ●示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ問題。【4(1)】 	<ul style="list-style-type: none"> ●全部の椅子の数を求めるために50×40を計算する問題。【1(4)】 ●テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを記述する問題。【2(4)】

<分析と考察>

国語、算数ともに全国平均正答率を上回っているものが多い。

国語では、漢字の書き取り問題において、全国平均を上回っている問題が多かった。授業内や家庭学習課題の中で継続して漢字学習に取り組んでいる効果が表れている。しかし目的や意図に応じて話の内容を捉えて自分の考えを記述式でまとめて解答する問題では、全国平均を下回っている問題もあった。自分の考えを文章に書き表す習慣を、国語だけではなくどの学習においても行っていく必要がある。

算数では、データの活用に関する問題や数と計算に関する問題では、顕著に全国平均を上回っていた。特にデータの活用に関する問題では、全ての問題で全国平均を上回っていた。コース別算数授業の導入により、算数が苦手な児童には基礎基本の確実な定着を、得意な児童には様々な種類の問題や思考力がより必要とされる問題に取り組んできたことで、力を伸ばすことができたと考えられる。しかし図形に関する問題では、全国平均を下回っていた問題もあった。そのため1月から授業で行われる復習単元「算数の学習をしあげよう」の中で、図形分野を含めた基礎基本を今一度丁寧に確認しながら授業を進めていく必要がある。